

コード	302020601
記入日:	H22.6.10

事務事業途中評価表

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	平尾好春

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	上五島老人福祉センター管理費
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3		
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1		
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	8		
事務事業コード	3020206	事務事業名称	上五島老人福祉センター管理費	細目コード	250		
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町地域福祉センター条例			

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 上五島老人福祉センター (対象2)		(対象指標1) 1箇所 (対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	施設利用が休止となり施設の維持管理を指定管理者(社会福祉協議会)に委託した。	***** 委託件数	***** 1件	***** 100%	委託件数1件÷予定件数1件	***** 平成21年度
		① (達成率分析)	予定どおり管理を指定管理者に委託した。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		② (達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
事業休止により施設建物のみ管理する。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 委託施設	***** 1施設	***** 100%	委託施設数	***** 平成21年度
		① (達成率分析)	施設利用休止により管理を指定管理している。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		② (達成率分析)				

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 件	5	5	4	1	1					
	②										
成果指標	① 人	9,853	8,704	8,704	1,149	0					
	② 日	1,044	1,044	1,044	0	0					
総事業費C(A+B)	千円	48,980	48,980	47,650	1,330	1,330					
直接事業費A	千円	46,880	46,880	46,250	630	630					
人件費B	千円	2,100	2,100	1,400	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.3	0.2	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	48,980	48,980	47,650	1,330	1,330					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	ある ● ない	理由	民間事業者の受入態勢や維持補修経費を勘案すれば必要性は低い。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	ある ● ない	理由	社協が指定管理で老人福祉事業を実施しているが、今後の利用や施設の管理を勘案すれば必要性は低い。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 不適切	理由	地域老人の憩いの場として活用していたが現在は使途を検討中。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	いる ● いない	理由	現在は休止状態であり、成果に至っていない。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	新規の使途を検討中。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	ある ● ない	理由	デイサービスなど社会福祉協議会等で実施されており休止による影響はないと考えている。
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる できない	理由	施設の利用条件によっては福祉事業に限らず別の事業での利用も可能。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	事業の休止により、施設管理のみ。
	人件費を削減することはできませんか。	● できる できない	理由	最低限の管理費のみで委託している。
	受益者負担は適正ですか。	● はい いいえ	理由	受益者負担はない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	本施設での事業は休止している。
		有効性	憩いの場として有効利用されていたが、指定管理者との協議で事業を休止
		効率性	民間事業者との競合や施設の老朽化で効率は低下しつつある。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	事業は休止中
		有効性	新たな事業展開、用途の見直しを指示していたが方向性は依然示されていない。
		効率性	指定管理者とも協議しつつ適切な維持管理に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
		●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●			事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。